

国立国語研究所学術情報リポジトリ

喜界島方言のアクセント資料(3)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-10-30 キーワード (Ja): キーワード (En): Kikai-jima Nakasato dialect, accent material, word class list, basic vocabulary, sentence list 作成者: 上野, 善道, UWANO, Zendo メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00000536

喜界島方言のアクセント資料 (3)

上野 善道

国立国語研究所 理論・構造研究系 客員教授

要旨

琉球方言の一つ、奄美喜界島の中里方言のアクセント資料として、今回は 310 語の類別語彙、541 語の基礎語彙、そして 116 文からなる例文の音調を報告する*。

キーワード：喜界島中里方言、アクセント資料、類別語彙、基礎語彙、文例

1. 目的

本誌の第 5 号、第 6 号（上野善道 2013a, b）に続いて、奄美喜界島中南部諸方言のアクセント資料を提示する。

2. 対象

これまでと異なり、今回の報告は (1) の 1 地点だけを対象とする。

(1) 中里（なかさと）方言 倉本 禎彦（くらもと ていひこ）氏（1934 年生まれ）

扱う内容は事実上 3 種類からなる。いずれも、中里は担当しなかったが、私もその調査員の一人として加わった国立国語研究所共同研究調査の報告の一つである木部暢子他（2011）を補完することを意図して調査したものである。中でも表 1 は拙文（1993）と重なる部分が多いが、この目的のために敢えて今一度調査をした。

表 1 は、木部他（2011: 163–187）の「基礎語彙 1 データ」に相当するものである。これは、「基礎語彙」とあるが、むしろそれを兼ねたアクセント類別語彙の調査である。ただし、実際の調査は、その元となった松森晶子作成の資料ファイルを用い、国語研のデータを参照することなく行なった。その結果は、木部他（2011）のファイルに一度転記したものの、49 項目が省かれていることが分かったので、今回は松森ファイルに基づいた 310 項目の報告の方を掲げる。項目の右横に○を付けたものが国語研の報告書にはない項目である。しかし、掲載項目の配列順は（重複している「鼓」を除き）両者一致しているので、検索に不都合はないであろう。なお、松森ファイルの「拍数、類、項目」については、項目欄を漢字仮名表記だけにすると微細な修正をした以外、配列や空欄も含めて一切手を加えていない。ごく一部に重複があるが、それもそのままとして★を付した。

* 35 年も前の最初の調査からお世話になっている話者の倉本禎彦さんに厚く御礼を申し上げる。本稿は 2013 年度 JSPS 科学研究費 25370452 による調査研究成果の一部である。

表2は、より基礎語彙的な記述を目指した調査表であるが、私の手違いから、木部暢子編(2013: 97-125)の八丈島方言の基礎語彙調査表(AとB)を持参してしまった関係で、それに従った調査報告となっている。項目数は550であるが、「長男」～「四男」に続く「五男」～「十男」、同じく「長女、二女」に続く「三女」～「六女」の、あまりに八丈島方言向けと見た10項目は、単に「何番目」と言うだけという答えだったので、掲載を省いた。一方で「老人」を補った。その結果、541項目となった。なお、表1と重複する部分もあるが、別々に調査をしたので、これらはそのまま掲載した。

表3は、木部他(2011: 269-307)の「文法データ」と同じ74の共通語例文を調査したものである(ただし、ひらがな表記を漢字に変えた部分がある)。文法項目のためか、その報告書には音調表記は掲載されていないので、今回の報告が例文の音調を記録した最初のものとなるはずである。ただし、単語の調査とは異なり、文になると一度にすべてを書き取るのは困難であり、また、話者にとっても一度で流暢に言いにくかったりすることもあるので、基本的に文節単位で切って発音してもらったものを記録し、その後で一文をまとめた発音で確認をした。

考察の対象である音調も、それに合わせて文節単位の表記とした。たとえば、その例文4「おれの 鉄はどこにある。」は、[waNnu [Ke:ja [zja:nji 云々のようにした ([は上昇。後出の(3)を参照)。音調の変動のみを表記する動的表記では、これらの文節間に音調変動はないので [waNnu Ke:ja zja:nji 云々と最初にだけ記号を付けるのが本来であるが、本稿では逐一分けて表記した。従って、[waNnu [Ke:ja [zja:nji 云々とあっても、[wa で上がった後、[Ke のところ、そしてさらに [zja のところで2段、3段と上昇する意味ではない。あくまでも文節範囲内での動的表記と理解されたい。ただし、[を付けるほどの上昇が見られない箇所は半上昇の%を付したところがある。なお、A/Bと斜線で併記してあるのは、両形がある意。()内も任意で、両形がある意。

表3に関連するものとして、各型を並べた短文のアクセントを聞いた資料を表4に示す。42文からなる。これは表3の調査の前年に、名詞の接続形の出方を見るために、意味にはあまりこだわらず、各型を組み合わせて並べただけの「AとBとCがある/見える。」および「AとBとC。」を読んでもらった簡単なものである。実際には、この他にも、同じαの中でも本土方言の対応類が異なるものは、念のために別にして聞いているが、当然ながら、何の違いもないことを確認してある。

3. 表記

表記は下記による。(2)は語音記号で、特に言及のないものは一般のローマ字読みから推測できよう。拙文(2012)も参照。なお、フは[ɸu]で記録してあるところもあるが、それと[hɸ]との対立はないことを確認したので、hɸにまとめた。(3)は音調記号である。その他に、話者が考え込んだり思い出せなかったりして回答に時間がかかった項目は、その前に「#」を付した。その中には、私の方で誘導したものも一部含まれる。「x」は該当するモノがない(なかった)という答えが得られたもの、語形は得られたがモノはなかったという場合は、語形の後に「(なし)」と記した。「?」だけの欄はどう言ったか分からないという回答のあった項目、語形に付した「?」

は、それかなと迷いながらの回答のあった項目である。「(OK)」は、これで調査ミスや入力ミスではないという印。

(2) 主な語音記号一覧

P, T, C, K: 喉頭(緊張)化音(無気音)で, [pʰ], [tʰ], [tsʰ] など。語頭で非喉頭化音と対立する。語中は、形態素の頭でない限り、喉頭化音が出る。パ行音はどの環境でも P で出る。

t, c, k: 非喉頭化音(有気音)で, [tʰ], [kʰ] など。非喉頭化音は形態素の頭に立つ。それによって形態素の切れ目が表示される。

ng: 鼻濁音(ガ行鼻音) [ŋ] で、ただの g [g] と区別される。

ʼ: 声門閉鎖音 [ʔ] で、この有無による対立がある。ʼiNnga: (犬) と iNnga (男) など。ただし、声門閉鎖音のない [i] は、その緩やかな入りわりに軽い接近音を伴い [ji] で出るので、これを明示的に ji で jiNnga と表記する。ʼi と ji でほぼ同じ長さに発音される。ヲには中里方言では声門閉鎖音を伴う 'u が対応するが、「緒」はそれのない u で出る。やはり 'u と wu で表記し分ける。

N: 撥音で、位置による変種を問わない。なお、長音は「:」で示し、促音は後続子音を(小文字で)繰り返す。

j: 口蓋化の印で, sji (シ), hji (ヒ) など。nji (ニ) と ni (ヌイ) は区別される。

C: チとタ行拗音, およびツの破擦音子音。Cji (チ), Cu (ツ) など。

S: 「足, 草, 下; 糞」などに現れ, 「お茶」の sa: などの [s] よりわずかに長い [sʰ] (拙文 1993 の [s] を訂正)。¹⁾ [sʰ] とともに表記するが、その間に音節境界はなく, [sʰa] = [sʰsa] と通常のサ [sa] は、アクセント上の振る舞いから見ても同じ 1 モーラをなす。中里方言ではないものの、これを有する喜界島の方言集では「ツサ」のように促音表記されている。また、「床下」など非語頭位置では, juKassa: のように、間に音節の切れ目のあるはっきりした促音になる。活用形の中でも Sji (「する」の過去形「した」。「知った」も同形) は sjiri (しろ) と区別される。

。: 母音の無声化。[du]sjj。[Cja]: (すすき) など。

(3) 音調記号一覧 (○は任意の拍)

[○: ○の直前の上昇(上げ)(従来の拙文の「と同じ)

○]: ○の直後の下降(下げ)(従来の拙文の「ないし1と同じ)

○]]: ○の内部での下降(従来の拙文の¹⁾)

○!: ○の直後の半下降。接続形に現れるもので、表3の文法データの例文中に頻出。

○!!: ○の直後の半下降よりも大きな下降に対する本稿での便宜的表記。5節で詳述。

%○: ○の直前の半上昇。

4. アクセント体系

本稿は資料提示が目的であるが、中里方言のアクセント体系について簡単に述べておく(上野 2012 を参照)。体言は α と β の 2 つの系列だけからなる二型アクセント体系で、それを(4)に示す。

「.」は言い切り形, 「...」は接続形である。

- | | | | | | |
|-----|----|----------------|-------------------|--------------------|----------------------|
| (4) | α: | [Ka. | Ka[nga. | [Ka]Ka[ra. | [KaKa]ra[mu. |
| | | [Ka... | [Ka!nga... | [KaKa!ra... | [KaKara!mu... |
| | | mi[du. | [mi]du[nga. | [midu]Ka[ra. | [miduKa]ra[mu. |
| | | [mi!du... | [midu!nga... | [miduKa!ra. | [miduKara!mu... |
| | | [ta]Ta[mi. | [taTa]mi[nga. | [taTami]Ka[ra. | [taTamiKa]ra[mu. |
| | | [taTa!mi... | [taTami!nga... | [taTamiKa!ra... | [taTamiKara!mu... |
| | | [midu]Ku[mi. | [miduKu]mi[nga. | [miduKumi]Ka[ra. | [miduKumiKa]ra[mu. |
| | | [miduKu!mi... | [miduKumi!nga... | [miduKumiKa!ra... | [miduKumiKara!mu... |
| | β: | [na]bi. | [nabi]nga. | [nabiKa]ra. | [nabiKara]mu. |
| | | [nabi... | [nabinga... | [nabiKara... | [nabiKaramu... |
| | | ha[Ta]na. | ha[Tana]nga. | ha[TanaKa]ra. | ha[TanaKara]mu. |
| | | [ha!Tana... | [ha!Tananga... | [ha!TanaKara... | [ha!TanaKaramu... |
| | | [mu]Cji[gu]mi | [mu]Cji[gumi]nga. | [mu]Cji[gumiKa]ra. | [mu]Cji[gumiKara]mu. |
| | | [muCji!gumi... | [muCji!guminga... | [muCji!gumiKara... | [muCji!gumiKaramu... |

他の喜界島中南部方言には見られない、中里方言独自の特徴は、両系列ともに接続形で交替を見せることである（他は、湾方言などのようにβ系列のみ交替をするか、伊実久方言のようにまったく交替を見せない）。その交替規則は（5）にまとめられる。言い切り形で高く始まる型はこの交替を起こさない。

- (5) 接続形は、高く始めて、言い切り形の語頭以外の上昇 (↑) をその位置で半下降 (!) に変える。

α系列は文節単位で、その言い切り形は文節末拍を上げる（そして、次末拍は下げ、その前があればすべて上げる）ので、語頭以外の上昇、すなわち文節末拍の上昇は、その長さに応じて移動する。それに対応する接続形の半下降 (!) も、常に文節末拍の直前で起こるので、その長さに応じて位置が動く。一方、β系列は単語単位でその次末拍に昇り核がある関係で、対応する接続形は、単語単位の次末拍の直前で半下降が起こり、助詞類が続いて文節が長くなってもその位置は動かない。なお、βの言い切り形は、文節末拍の直前で下降する。この下降] と接続形の半下降 ! は、音声的にはっきりと区別される。[na]bi. と [mi!du... を比較せよ。

名詞はこの2つの型に納まるが、動詞と形容詞には、融合による変化の結果、第3の型 (γ) が生じている。本稿に関係するのは表2の最後のあたりに出て来る形容詞で、[ma]ru[sa. (丸い, α), nu[Ku]sa. (温い, 暖かい, β) に対して、それぞれ (6) の形も持つ。これらは、(6) の右端のように、元の形 (サ形) の接続形 (この融合段階ではまだ中里方言の交替規則 (5) は成立していなかった) に動詞の「あり」が融合した結果生じたものである。すなわち、「丸い」=「丸さあり」である。その結果、元のα型からはβ型 (単語単位で次末拍に昇り核のある - ②型) が、元のβ型からはγ型 (単語単位の前次末拍に昇り核のある - ③型) が生じている。

- (6) [ma]ru[sa]i. $\beta < *[\text{ma}]\text{ru}[\text{sa}'\text{a}]\text{i} < [\text{ma}]\text{ru}[\text{sa}...] \text{ (丸さ, } \alpha) + [\text{'a}]\text{i} \text{ (あり)}$
 nu[Kusa]i. $\gamma < *[\text{nu}]\text{Kusa}'\text{a}]\text{i} < \text{nu}[\text{Kusa}...] \text{ (温さ, } \beta) + [\text{'a}]\text{i} \text{ (あり)}$

以上の認定に基づき、表1と表2については、それぞれの語形の後ろに、 α , β , γ でそのアクセント型を示した。明らかに同源の2つの語形が得られた場合は、まとめてそのアクセントを示したところもある。

5. 課題

表3について、予想通り接続形における半下降 (!) が頻出するが、文末部の音調に興味深い現象が見られる。文末に立つ用言が、単独形では

- (7) [i]su[ga]sa. (忙しい)
 ju[Tasa]i. (良い)
 'i[Ki. (行け)
 [i]Cju[i. (行く)
 [wa]Ka[ra]:. (分からない。かもしれない)
 'u[i. (いる)

等々であるにもかかわらず、それぞれ、本稿の表記にして

- (8) [isu!!gasa.
 [ju!!Tasai.
 [i!!Ki.
 [iCju!!i.
 [waKa!!ra:.
 [u!!i.

となるのである。

ここに「!!」は、通常の接続形における半下降!の位置に現れ、かつ、その下降の度合いは通常の半下降よりも大きく、通常の下降]とほとんど区別がつかないくらいのものをさす。通常の半下降であれば、まず問題なく聞こえるが、!!で示した音調は、多くの場合に当初は通常の下降]で記録し、何度か聞いて、あるいはそう予測して対処することによって、やっと通常の下降よりもわずかに下降幅が少ないと聞こえるほどのものであった。時には通常の半下降も聞こえることがあり(特に、下降の位置からその文節末までの距離が長い場合は、自然下降が起こらないので分かりやすい)、その場合は!で表記したが、そうでなかったものは!!で統一して表わした。!!が2拍目以降に出る場合は、その下降が目立つためか、1拍目はやや低めに、むしろ 'i[Cju]i かとさえ聞こえることもあった。

この特異な下降!!は、(9)のように、終助詞相当のものを伴う文末の名詞にも、文次末位の(助詞付き)名詞にも、ともに出て来る。

- (9) [wa!!nga ['iCju!!i. (おれが行く)
 [mu!!Nna. (ものか)
 [ha!!sajo. (笠だ)
 [ta!!ru [Ka]i. (誰だろう)

関連データの表4を見てみよう。(10) に一部を抜き出して示す。

- (10) 水と鳥と鼻がある。 [midu!Tu [tui!Tu [hana!!nga %'a]i.
 海と鍋と船がある。 [umi!Tu [nabi!Tu [huninga ['a]i.
 鳥と水と船が見える。 [tui!Tu [midu!Tu [huninga [miNKa!!jui.
 豆と鍋と水が見える。 [mami!Tu [nabi!Tu [midu!!nga %miNKa!!jui.
 水と海と船がある。 [midu!Tu [umi!Tu [huninga ['a]i.
 鍔と鏡と暦。 [hasami!Tu [kagami!Tu [ku]ju[mi.
 畑と煙と刀。 [ha!Te:Tu [hibusji!Tu ha[Ta]na.

要するに、文末以外の名詞はすべて接続形で、ただし、半下降!を持つものは、文末末においてはその下降を!!に大きくしていることが分かる。β系列の2モーラ名詞はそもそも接続形では下降がないので文末末においても無関係であるが、3モーラ名詞になると、やはり!!が出現する。

対して、文末の用言は、通常の言い切り形 [miNKa]:[ju]i. (見える) に対して、[miNKa!!jui. が出ている。[a]i. (ある) は、2モーラ語でそもそも半下降を持ちえないのでそのままである (もともと、文末末名詞に下降がなければ明瞭な下降]で出るが、直前に!!があると、やや下がり方が少なくなるようにも聞こえる。なお観察が必要かもしれない)。

ところが、文末に立つ裸の名詞は、[ku]ju[mi (暦, α), ha[Ta]na (刀, β) で、通常の言い切り形で現れている。(9) との違いは、同じ文末でも、終助詞相当のものが付いているか否かにあると見られる。

以上の!!の現象をどのように位置付けるべきであろうか。現在のところ、通常の半下降と同じもので、それが文末の用言や終助詞を伴う名詞の上に「陳述のイントネーション」が被さった結果、その下降幅が大きくなって実現しているものと解釈している。文末末位における名詞にも現れるのは、最後の名詞文節+用言が密接な結び付きをしていて陳述のイントネーションの影響がその名詞文節にも及ぶことと、用言が上昇で始まるためにその直前の半下降が通常の下降との区別がつきにくい(名詞の例であるが、[ヤマ!ト[ウ]ミ. と [ヤマ]ト[ウ]ミ. は極めて近い)ためと見ておく。名詞文節を用言から切り離して丁寧に発音すると、通常の半下降が現れる。

しかしながら、なお残る、より大きな問題は、そもそも何故この文末末位に接続形相当の形が現れるのかである。(7) と (8) の両方が出ている場合の意味の差が何であるか、にも関係する未解決の課題である。(それぞれに相当する一方のみしか記録していない場合があるが、確認すれば、両方が出る可能性が高いと見る。) 日本語史におけるかつての「終止(形)止め」に対する「連体(形)止め」に対応するような意味の区別があるのかもしれないと思い、両形がある場合の話

者の内省も聞いてみたが、そう簡単ではなさそうである。今回はこのまま報告をし、あらためて考察する機会を得たい。

参考文献

- 木部暢子・窪菌晴夫・下地賀代子・ローレンス ウェイン・松森晶子・竹田晃子 (2011) 『消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究 喜界島方言調査報告書』国立国語研究所共同研究報告 11-01.
- 木部暢子編 (2013) 『消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究 八丈島方言調査報告書』, 国立国語研究所.
- 上野善道 (1993) 「喜界島方言の体言のアクセント資料」『アジア・アフリカ文法研究』 21: 41-160.
- 上野善道 (2012) 「琉球喜界島方言のアクセント——中南部諸方言の名詞——」『言語研究』 142: 45-75.
- 上野善道 (2013a) 「喜界島方言のアクセント資料 (1)」『国立国語研究所論集』 5: 121-154.
- 上野善道 (2013b) 「喜界島方言のアクセント資料 (2)」『国立国語研究所論集』 6: 183-216.

Accent Data of the Kikai-jima Dialects: Part 3

UWANO Zendo

Invited Professor, Department of Linguistic Theory and Structure, NINJAL

Abstract

In this paper, accent data from the Nakasato dialect in Ryukyuan Kikai-jima are presented with particular reference to word class list (310 items), basic vocabulary (541 items), and sentence list (116 sentences).

Key words: Kikai-jima Nakasato dialect, accent material, word class list, basic vocabulary, sentence list

表 1 アクセント

拍数	類	項目	中里方言	拍数	類	項目	中里方言
1	1	毛	hji[nji](髪の毛以外の総称) α	2	1	丘	'u[Ka α, mu[i α
1	1	血	Cji[: α	2	1	牛	'u[sji α
1	1	緒	'u[: α	2	1	魚	'i[ju α
1	1	帆	hu[: α	2	1	金	ha[ni α
1	1	柄	ji[: α	2	1	口○	Ku[Cji α
1	1	実	mi[: α	2	1	溝	mi[zju]: β
1	2	日	[hji]: β (日が変わる, 短い, その日は, など)	2	1	砂	su[na α
1	2	藻	mu[: α	2	1	皿	sa[ra α
1	2	葉	ha[: α	2	1	枝	ju[da α
1	2	名	na[: α	2	1	酒	sje[: α
1	3	手	ti[: α	2	1	首	Ku[bi α
1	3	目	mi[: α	2	1	傷	Cji[du α
1	3	歯	ha[: α	2	1	床	ju[Ka α
1	3	屁	hji[: α	2	1	尻	[ma]i β
1	3	穂	hu[: α	2	1	水	mi[du α
1	3	荷	nji[: α	2	1	裾	su[su α
1	3	湯	ju[: α	2	1	星	hu[sji α
1	3	粉	ku[na (, ku[: ?) α	2	1	袖	su[di α
1	3	野	ha[ru α	2	1	鷹	ta[Ka α
1	3	火	'u[ma]Tu β, hji[: α	2	1	棚	ta[na α
1	3	田	ta[: α	2	1	竹	de[: α
1	3	木	hji[: α	2	1	虫	mu[sji α
1	3	菜	na[: α	2	1	鳥	tu[i α
1	3	根	ni[: α	2	1	壺	Tu[bu α
1		乳	Cji[: α	2	1	爪	Tu[mi α
1		茶	sa[: α	2	1	底	su[Ku α
1		菓	su[: α	2	1	釘	Ku[nji α
2	1	飴○	'a[mi α	2	1	桃	mu[mu α
2	1	烏賊	'i[Ka α	2	1	道	mi[Cji α
2	1	海老	'i[bi α	2	1	匂い	ha[da α
2	1	鋏	[Ke]: β	2	1	蠅	he[: α
2	1	腰, 後ろ	hu[sji α	2	1	箱	ha[Ku α
2	1	右	[mi]gi β	2	1	鼻	ha[na α
2	1	嫁○	ju[mi α	2	1	稗	# hji[e α ?
2	1	羽	ha[ni α	2	1	髭	hji[nji α
2	1	甥○	mi[:k]Ka β	2	1	筆	hu[di α
2	1	横	ju[Ku α	2	1	百合○	ju[ri α
2	1	灰	ju[ni α	2	1	布	nu[nu α
2	1	蟹	ga[nji]: β	2	1	風	ha[di α
2	1	粥	ka[i α	2	1	蜂	[ha]Cji[: α
2	1	蟻	'a[nji α	2	1	味	'a[zji α
				2	1	霧	Ki[ri α, mu[ja α

拍数	類	項目	中里方言
2	1	糊	mu[mi α
2	1	篩	ju[i α
2	1	臍	hu[su α
2	1	舅○	?
2	1	鱗	hu[Ka α, sa[ba α
2	2	紙	ha[bi α
2	2	牙○	Ki[ba α
2	2	夏	na[Tu α
2	2	音	'u[Tu α
2	2	歌	'u[Ta α
2	2	垣	ha[Cji α
2	2	旗○	ha[Ta α
2	2	橋	ha[sji α
2	2	胸	mu[ni α
2	2	型	ka[Ta α
2	2	弦○	# Tu[ru α (弓の)
2	2	口蓋(あご)	'a[gu α
2	2	人	[Cju α
2	2	石	'i[sji α
2	2	昼	hji[ru α
2	2	冬	hu[ju α
2	2	肘	hji[zji α
2	2	旅	ta[bi α
2	3	舌	su[ba α
2	3	面	Tu[ra α
2	3	肝	Cji[mu α
2	3	耳	mi[mi α
2	3	骨	[hu]ni β
2	3	皮	ka[wa α
2	3	腕(うで)	'u[di α
2	3	脛	[su]ni β
2	3	指	ju[bi α
2	3	糞	[Su α
2	3	背丈	sji[: α, ta[Ke α
2	3	股	ma[Ta α
2	3	腹	wa[Ta α
2	3	垢	[hji]N[gu α
2	3	親	'u[ja α
2	3	肉	sji[sji α
2	3	豆	ma[mi α
2	3	米	hu[mi α
2	3	糠	nu[Ka α
2	3	墓	ha[Ka α

拍数	類	項目	中里方言
2	3	網	'a[mi α
2	3	鉢	[ha]Cji β (OK)
2	3	縄	na[: , na[wa α
2	3	弓○	[ju]mi β (OK)
2	3	墨○	su[mi α
2	3	綱	Tu[na α
2	3	瓶	[ha]mi β
2	3	竿	so[: α
2	3	毬○	[zjit]Ta β (手鞠), [ma]:[ru]: β (ゲートボール状)
2	3	年	tu[sji α
2	3	時	[Tu]Ki, ['aNdu]Ki β (あのとき)
2	3	夜★	ju[ru α
2	3	月	Cu[Ki α (天体, 暦も)
2	3	山	ja[ma α
2	3	島	sji[ma α
2	3	雲	Ku[mu α
2	3	波	na[mi α
2	3	浜	[ha]ma β
2	3	馬	[ma α
2	3	鳩	[ha]Tu[: α
2	3	犬	['i]N[nga]: β
2	3	蝻(にな)	mi[nja α
2	3	蛸	to[: α
2	3	亀	[ha]mi[: α
2	3	蛆	'u[zji α
2	3	蚤	[nu]mi β
2	3	角(つの)	Tu[nu α
2	3	花	ha[na α
2	3	草	[Sa α
2	3	蕪	bi[ra α
2	3	藪(薩摩芋)	'u[mu(田芋) α, [ha]N[su]: β (薩摩芋)
2	3	節	hu[sji α
2	3	泡	[bu]Ku β
2	3	怪我	ki[ga α
2	3	穴	'a[na α, hu[sji α
2	3	裏	['u]ra β (紙の)
2	3	物★	mu[N α
2	3	色	'i[ru α
2	3	鬼	'u[nji α
2	3	夢	'i[mi α
2	3	綾, 模様	'a[ja α

拍数	類	項目	中里方言	拍数	類	項目	中里方言
2	3	物★	mu[N α (食べ物)	2	4	管○	[Ku]da β
2	4	肩	ha[Ta α	2	5	腿	mu[mu α
2	4	肌○	ha[da α	2	5	眉	ma[ju α
2	4	息	[i]Cji β	2	5	声	[ku]i β
2	4	帯	cju[Cju]bi β (紐状の簡素な), 'u[bi α (立派な)	2	5	汗	'a[sji α
2	4	蓑	? (なし)	2	5	婿	[muk]Ka β
2	4	汁	sji[ru α	2	5	足袋	[ta]bi β
2	4	味噌	mi[su α	2	5	煤	[su]su β
2	4	茸	na[ba α (丸い), [mimiNgo]:[ja]: β (木くらげ)	2	5	鍋○	[na]bi β
2	4	板	'i[Ta α	2	5	桶	# [ji]: β
2	4	船	[hu]ni β	2	5	前	[me]: β
2	4	篋	[hji]ra β	2	5	雨	'a[mi α
2	4	鑿	nu[mi α	2	5	露	[Tu]ju β
2	4	笠, 傘	ha[sa α (傘の方が普通)	2	5	蔭○	[ha]ngi β
2	4	鎌	ha[ma α	2	5	猿○	sa[ru]: β
2	4	臼	[u]su β	2	5	心	Cji[mu α, [ku]Ku[ru α
2	4	針	[ha]i β	2	5	影○	[ha]ngi β
2	4	糸	'i[Cju]: β	2	x	技, 仕事	wa[da α
2	4	外	su[Tu α	2		喉○	nu[di]: β
2	4	奥	[u]Ku β	2		錆○	sa[bi α
2	4	中	[na]: β	2		樽○	[ta]ru β
2	4	今日	[su]: β	2		上	ji[: α
2	4	海	[u]mi β	2		下	[Sa α
2	4	角(かど)	ka[du α	2		夜★	ju[ru α
2	4	稲	'i[ni α	2		貝○	mi[nja α
2	4	麦	mu[nji α	3	1	額	mic[Cje]: β
2	4	瓜	# [u]ri β ?	3	1	鼻血	[hana]zji[: , [hana]Cji[: α
2	4	栗	'a[wa α	3	1	涎	[ju]da[i α
2	4	松	[ma]Tu β (OK)	3	1	麴	ho[:zji β
2	4	茅	ga[ja α	3	1	畳○	[ta]Ta[mi α
2	4	苗	ne[: α	3	1	印	[sji]ru[sji α
2	4	藁	wa[ra α	3	1	隣	[CjiN]zju β (OK)
2	4	梢	su[ra]: β (砂糖黍の先端の意)	3	1	埃	# [hu]:[mu α
2	4	種	ta[ni α	3	1	踊り	[u]du[i α
2	4	粕	ka[su α	3	1	飾り○	[ka]za[i α
2	4	傍	su[ba α	3	1	車○	[Ku]N[ma (砂糖黍の), [Ku]ru[ma α
2	4	粒	Tu[bu α	3	1	竈○	[hama]du[: α
2	4	筋	[su]zji β	3	1	祭り○	[a]su[bi α (神社など), [ma]Tu[i α (年忌も含む)
2	4	跡	[a]Tu β	3	1	鎖	[Ku]sa[i α
2	4	数○	[ka]du β	3	1	昔○	mu[Ka]sji β
2	4	槌○	[Tu]Cji β	3	1	港○	[mi]na[Tu α

拍数	類	項目	中里方言
3	1	鯉	[ka]Cu[o α
3	1	桜○	sa[Ku]ra β (なし)
3	1	柳○	ja[na]gi β (なし)
3	1	形	[ka]Ta[Cji α
3	1	漆	[u]ru[sji α
3	1	寝言○	[ni]gu[Tu α
3	2	小豆○	# 'a[zu]Ki β
3	4	袴	ha[Ka]ma (衣), [ha]:[ma]: β (砂糖黍の)
3	4	着物	Cji[N α
3	4	瓦	ka[wa]ra β
3	4	鼓★	# [Tu]du[mi α?
3	4	暦	[ku]ju[mi α
3	4	俵	[ta]wa[ra α
3	4	袋	[huk]Ku β
3	4	団扇○	[u]Cji[ha]: β
3	4	扇○	[seN]su β, 'o[:]gi β
3	4	筵	mus[su α
3	4	鏡	[ka]ga[mi α
3	4	鋏	[ha]sa[mi α
3	4	刀	ha[Ta]na β
3	4	鼓★	[re]:[ko]: β
3	4	表	[u]mu[Ti α (客間も)
3	4	硯○	[su]du[i α
3	4	昨日	Cji[nju]: β
3	4	明日	'a[Cja α
3	4	鶉	[ut]Ta[mi]: β
3	4	宝	[ta]Ka[ra α
3	4	言葉	[ju]mi[Ta α
3	4	境○	'a[di α (OK)
3	5	腕(かいな)	[gu]Te[: α
3	5	涙	na[da α

拍数	類	項目	中里方言
3	5	従兄弟	['i]Tu[Ku α
3	5	油	[a]N[ba α
3	5	柱	[ha]ja β
3	5	簾○	su[da]i β
3	5	枕	mak[Ka α
3	5	箒	ho[:]Cji β
3	5	きゅうり	[Cji]u[i α
3	5	情け	# na[sa]ke β?
3	5	命	'i[nu]Cji β
3	5	姿○	su[ga]Ta β, [ha]ngi β
3	6	団子○	[mucCji]N[Ka]: β
3	6	左	hji[da]i β
3	6	烏	[ga]ra[sa]: β
3	6	鰻	'u[na]gi β (OK)
3	6	兎	'u[sa]gi β (OK)
3	6	蚯蚓(みみず)	[bibi]da[ra]: β
3	6	虱	sji[ra]mi β
3	6	裸○	ha[da]: β
3	7	病○	ja[ma]i β
3	7	葉	Ku[su]i β
3	7	鹽	ta[re]: β
3	7	畑	ha[Te]: β
3	7	鯨	[KuN]zja, Ku[zji]ra β
3	x	百足	[mu]Ka[di α
3	x	欠伸	[a]Ku[bi α
3	x	小麦○	['i]nja[mu]nji β Cf. [u]hu[mu]nji β 大麦
3	x	岬○	? (なし)
3	x	力○	[Cji]Ka[ra α
3	x	黄金○	[taKara]mu[N α ([ku]ga[ni α は 小金, 小銭)
3	1	障子○	so[:]zji β

表 2 基礎語彙

項目	中里方言
頭	[ha]ma[Cji α
髪の毛	[has]sa[ngi]: β
旋毛(つむじ)	[ma]Tu[zji α
雲脂(ふけ)	hu[Cji α
白髪	[sjiruhas]sa[ngi]: β
目	mi[: α
眉	[miN]ma[ju]: β, ma[ju α

項目	中里方言
額(ひたい)	mic[Cje]: β
鼻	ha[na α
鼻血	[hana]Cji[: α
耳	mi[mi α
口	Ku[Cji α
唇	[KuCji]bi[ru α
舌	su[ba α

項目	中里方言	項目	中里方言
歯	ha[: α	咳	?
歯茎	[ha]gu[Cji α	唾	Tu[ba α
口蓋(あご)	'a[gu α, # ['u]Ta[ge]: β	欠伸(あくび)	[a]Ku[bi α
髭	hji[nji α	涎(よだれ)	[ju]da[i α
毛	hji[nji α(OK)	屁	hji[: α
面(かお)	Tu[ra α	糞	[Su α
首	Ku[bi α	尿	sji[ba]i β
肩	ha[Ta α	おでき	[ni]bu[Tu]: β
胸	mu[ni α	たんこぶ	[ku]bu β
乳	Cji[: α	汗	'a[sji α
腹	wa[Ta α	垢	[hji]N[gu α
背中	hu[sji α, [husji]N[na]: β(腰の中) Cf. [na:]bu[ni]: β(背骨)	怪我	ki[ga α
肝	Cji[mu α	病気	ja[ma]i β
臍	hu[su α	血	Cji[: α
腰	hu[sji α	傷	Cji[du α
尻	[ma]i β	薬	Ku[su]i β
肛門	[mai]'a[na]: β?	灸	ja[Cju]: β
手	ti[: α	命	'i[nu]Cji β
腕	[gu]Te[: α	木	hji[: α
肘	hji[zji α?	葉	ha[: α
力	[Cji]Ka[ra α (ガーとは言わない)	枝	ju[da α
拳(こぶし)	Tik[Ko]: β	梢(こずえ)	ju[da α
筋	[su]zji β	実	mi[: α, # na[i]: β
指	ju[bi α, [tiN]ju[bi]: β	根	ni[: α
爪	Tu[mi α	草	[Sa α
足	[Sa α (「下」と同形)	花	ha[na α
腿	mu[mu α, [huTu]mu[mu α, 'at[Te]: β	種	ta[ni α
股	ma[Ta α	苗	na[i α
膝	[Tu]bu[sji α	稲	'i[ni α
踝(くるぶし)	[Ku]ru[bu]sji β	穂	hu[: α
脛(すね)	[su]ni β	米	hu[mi α
ふくら脛	[kac]Cji β	粳(もみ)	[humi]ga[ra]: β(米殻)
踵(かかと)	['a]du β	麦	mu[nji α
体	? Cf. do[: α(胴)	藁(わら)	wa[ra α
背丈	sji[: α, na[ga]sa β, ta[Ke α	麦わら	[munji]wa[ra]: β
骨	[hu]ni β	茅(かや)	ga[ja α
皮	ka[wa, ka[: α	粟(あわ)	'a[wa α
ほころ	a[da α(痣か? 不明と)	稗(ひえ)	# he[: α?
涙	[na]mi[da α	芋	'u[mu α, [ta:]'i[mu]: β(田芋)
声	[ku]i β	甘藷(さつまいも)	[ha]N[su]: β
息	['i]Cji β	豆	ma[mi α
		胡瓜(きゅうり)	[Cji]u[i α
		蓬(よもぎ)	[hu]Tu α

項目	中里方言
菜(な)	na[: α
大根	[de:]Ku[ni]: β
冬瓜(とうがん)	tu[:]ga β (OK)
南瓜(かぼちゃ)	tus[so]: β
瓜(うり)	? (総称なし?)
韭(にら)	bi[ra α
茸	?
きくらげ	[mimiNgo]:[ja]: β (耳状)
とうがらし	hu[su α
苦瓜(にかがうり)	[mi]nja[gu]:i β
胡麻(ごま)	[gu]ma β
苺	#'i[Cj]go β
薺(かび)	ha[bi α
ソテツ	[su]Ti[Ta]: β
松	[ma]Tu β
竹	de[: α
梅	'u[me α (あるが, 花のみで, 梅干 しはない)
桃	mu[mu α
桑	[Ka]:[ngi]: β
萱(かや)	ga[ja α
薄(すすき)	[du]sji. [Cja]: β
くば(びろう樹)	su[ru α
ミカン	mi[Ka]N β Cf. [Ku]ni[ha]: β, hu[su]: β, [moN]ni[ba]: β などの 種類
茎	gu[Cji α
あおさ	['a]:[sa]: β Cf. nu[i α (黒海苔)と は別
モズク	x (取れない)
藻	mu[: α
烏賊(いか)	'i[Ka α
蛸(たこ)	to[: α
海老(えび)	'i[bi α
ウニ	[ga]su. [Ta]: β
ウニなどの肉・身	[gasu. Ta]:[mi]: β
貝	mi[nja α
蛭(にな)	mi[nja α
亀	[ha]mi[: α
蟹	ga[nji]: β
魚	'i[ju α
鱗(うろこ)	'ic[Cji α
鰻	#'u[na]gi β

項目	中里方言
鯨	[KuN]zja β
鯉	[ka]Cu[o α
飛び魚	[tu]bi[ju α (OK)
いるか	'i[ru]Ka β (たまこいる)
なまこ	# ta[ja]: β
ヒトデ	[gara]N[To]: β
やどかり	['a]ma[ma]: β
牛	'u[sji α
馬	[ma α
雄山羊(やぎ)	ja[zji]: β
豚	[wa]: β
角(つの)	Tu[nu α
たてがみ	ha[zji α
犬	['i]N[nga]: β
猫	gu[ru]: β
兎	#'u[sa]gi β
鼠	ma[ja]: β
虫	mu[sji α
蟻	'a[nji α
蚊	ga[zja]mi β
蜘蛛	Ku[mu α
蜘蛛の巣	[Kumu]N[su]: β
蝶々	[ha]bi[ra]: β
カタツムリ	[ma:Cjo]:[nja]: β
蛙	[bi]:[Cja]: β
蜂	[ha]Cji[: α
蠅	he[: α
蛆(うじ)	u[zji α?
蚤(のみ)	[nu]mi β
蚯蚓(みみず)	[bibi]da[ra]: β
虱(しらみ)	sji[ra]mi β (OK)
百足(むかで)	[mu]Ka[di α
蚕	ka[i]Ko β (昔飼った)
かまきり	# ['issa:tu]:[mi]: β, [ka]ma[Ki]ri β
とんぼ	['e]:[zja]: β
ばった	[ba]:[Ta]: β
鳥	tu[i α
鶏(にわとり)	tu[i α
とさか	[ka]ga[mi α, [tuiNka]ga[mi]: β (鳥 の鶏冠)
雀	[jiN]du[ja]: β
鳩	[ha]Tu[: α
烏	[ga]ra[sa]: β

項目	中里方言
鶉(うずら)	[ʼut]Ta[mi]: β
鷹	# ta[Ka α
卵	ta[ma]gu β Cf. hu[nga]: β (瀬戸物の抱き卵)
巢	su[: α
羽	ha[ni α
動物(総称)	[ʼiCji]mu[N α
空	[tiN]To[: α
日	[ti]da β
太陽	[ti]da β
光	[hji]Ka[i α
蔭	[ha]ngi β
まぶしい	[miNCja]ru[sa α
火	ʼu[ma]Tu β
水	mi[du α
山	ja[ma α (なし)
川	ka[wa α (なし) Cf. ha[: α (井戸)
橋	ha[sji α (なし)
丘	ʼu[Ka α, mu[i α
陸地	ʼu[Ka α
土・地面	zji[da α
星	hu[sji α (「腰」と同形)
月	# Tu[Cji α
雲	Ku[mu α
霧	# mu[ja α (今はKi[ri α)
露	Tu[ju α
雨	ʼa[mi α
風	ha[di α
竜巻	ʼi[njo]: β (海に発生)
稲光	[ʼina]bi[Ka]i β, [kami]na[i α (フドウイはない)
地震	[zji]na[i α (ナイだけでは言わない)
虹	[CjiriCji]ri[go]: β
明かり	[ʼa]Ka[i α
雷	[kami]na[i α
潮	ʼu[su α
煙	[hji]bu[sji α
浅瀬(海の)	[ʼa]sa[sji α
遠浅(とおあさ)	[to:]ʼa[sa α
洞窟	# ga[ma α
海	[ʼu]mi β
海の水溜り	[midu]ta[ma]i β
港	[mi]na[Tu α

項目	中里方言
波	na[mi α
泡	[bu]Ku β
島	sji[ma α
浜	[ha]ma β
珊瑚礁	# [ʼuru]ʼi[sji α (枝サンゴ)(ある)
砂	su[na α
石	ʼi[sji α
溝	mi[zju]: β
田	ta[: α (なし)
畦道(田の)	x
畑	ha[Te]: β
野(の)	ha[ru α
道	mi[Cji α
崖(がけ)	# ga[Ki α (ママとは言わない)
坂	[nubui]hji[da α? (ない。ヒラは不使用)
頂上	tep[Pe]N β
東:東風	hji[ga]sji β; ko[Cji α (風)
北:北風	Ki[Ta α (方角)
西:西風	nji[sji α; [ta]:[na]: β (風)
南:南風	mi[na]mi β; [he]: β, [heN]ka[di]: β
右	[mi]gi β Cf. [ʼu α (農作業中の馬への指令)
左	hji[da]i β Cf. [su]di β (馬に)
前	[me]: β
後ろ	hu[sji α
跡	[ʼa]Tu β
横	ju[Ku α
上	ji[: α
下	[Sa α
中	[na]: β
底	su[Ku α
内	[na]: β
外	su[Tu α
奥	[ʼu]Ku β
角(かど)	ka[du α
傍	su[ba α
今日	[su]: β
昨日	Cji[nju]: β
一昨日	ʼut[Ti]: β
明日	ʼa[Cja α
明後日	ʼa[sat]Ti β
明明後日	[jo:]nat[Ti]: β

項目	中里方言	項目	中里方言
今年	[kuN]du β	粥	ka[i α
去年	hu[du α	餅	muc[Cji]: β
一昨年	[mi]Cju[na]Ti β	雑炊	[du]:[sji]: β
来年	[ja]nji β	味噌	mi[su α
再来年	[jaN]Cju β	汁	sji[ru α
今	[nja]ma β	塩	ma[su α
昔	mu[Ka]sji β	塩辛い	[masu]ha[ra]sa β
夏	na[Tu α	砂糖	sa[Ta]: β
冬	hu[ju α	甘い	[a]ma[su α
朝	[Ka]ma β	砂糖黍	[u]:[nji]: β
昼	[mahji]N[ma α	粕	[ta]ni[ma]: β (酒粕)
夕方	[jo:ne:]ga[Ta]: β	酒	sje[: α
夜	ju[ru α	麴	ho[:]zji β
夜中	[ju]na[: α	粒	Tu[bu α
暇	# hji[ma α	糠	nu[Ka α
時	(希) tu[Ki α?	粉	ku[na α
年	tu[sji α	にんにく	hji[ru α
暦	[ku]ju[mi α	芽	mi[: α
物	mu[N α	クワズイモ	x
色	'i[ru α	肉	sji[sji α
音	'u[Tu α	果物	?
夢	'i[mi α	油	[a]N[ba α
着物	Cji[N α	天ぶら	[Tu]Cji[a]gi β
襟(えり)	# je[ri α, Ku[bi α か	灰	ju[ni α
袖	su[di α	匂い	ha[da α
裾	su[su α	味	'a[zji α
帯	'u[bi α	料理	zju[:]ri β
紐	cju[Cju]bi β	ご飯	'u[ba]ni β
足袋(たび)	[ta]bi β	食事	mu[N α
袴	ha[Ka]ma β Cf. [ha]:[ma]: β (砂糖黍の)	朝食	[Kamanu]mu[N α
下駄(げた)	'as[sa α	昼食	[hji]runu]mu[N α
草履(ぞうり)	sa[ba α	夕食	[jo:ne:nu]mu[N α
緒(お)	wu[: α	膳(ぜん)	zji[N α
布	nu[nu α, Cji[N α	食べる	ka[nju]i β
表(おもて)	[u]mu[Ti α (家. 紙の表も)	食べ物	[ka]N[mu]N β
裏	[jaN]hu[sji]: β (家の), hu[sji α	家	ja[: α
綾, 模様	'a[ja α?	母屋(おもや)	'u[mu]ja β ([u]mu[Ti α は応接間のある建物)
手ぬぐい, タオル	[ti]nu[gu]i β	台所	[ne]:[su]: β
蓑(みの)	x	天井	[ti]N[zjo]: β
湯	ju[: α	床(ゆか)	ju[Ka α (上), [ju]Kas[sa]: β (下)
茶	sa[: α	棚	ta[na α
飯	'u[ba]ni β	竈(かまど)	# ha[ma α

項目	中里方言	項目	中里方言
いろり	# [zji]ru β, [zjiru]ba[Ta]: β (囲炉裏端) Cf. 五徳は gu[Tu]Ku β	包丁	ha[Ta]na β, [ho]:[Cjo]: β
戸	tu[: α	刀	ha[Ta]na β
板	'i[Ta α	小刀	[kuga]Ta[na α
節	hu[sji α (「腰」と同形), [de:]nu[hu]sji β (竹の節)	まな板	# [ma]na[Cja, [mana]'i[Ta α
穴	'a[na α, [husji]'a[na]: β	臼	[u]su β, so[:]su β (磨り臼)
柱	[ha]ja β, ha[sji]ra β, [na]:[ba]ja β (大黒柱)	杵	'a[du]mu β (縦杵)。横杵は Ki[ne αか? (ともにあったが)
釘	Ku[nji α	斧	du[nja]: β
瓦	ka[wa]ra β (なかつた)	鋸(のこ)	nu[Ku α
便所	[kaN]zju β	鑿(のみ)	nu[mi α
垣	# [he]: β, ['isji]N[ga]Cji β (石垣)	錐	Ki[ri α
庭	[ja]N[me]: β	箱	ha[Ku α
井戸	ha[: α	筆	hu[di α
墓	[jiN]ga[Ta]: β (上の方にあるからか), ha[Ka α (ハ-は使わない)	紙	ha[bi, ha[mi α
煤	[su]su β	鋏	[ha]sa[mi α
埃	[hu]:[mu α Cf. [hji]N[gu α, [hji]N[gu]: β (汚れ)	印	[sji]ru[sji α
縄	na[: , na[wa α	漆	'u[ru]sji β (なし)
鎖	[Ku]sa[i, [Ku]sa[ri α	鏡	[ha]ga[mi α
綱	Tu[na α	櫛	[sa]ba[Cji α (まとめて言う)
袋	[huk]Ku β	布団	hu[Tu]N β, [u]du β (着物を縫ぎ接ぎした粗末なもの)
荷	nji[: α	枕	mak[Ka α
皿	sa[ra α	箒	ho[:]Cji β
椀	ma[:i β, [sjiruma]:i α (汁椀), [misjima]:i α (飯椀)	竿	so[: α, [so]:[de]: β (竿竹), de[: α
茶碗	[sa]zja[wa]N β, sa[wa]N β	杖	gu[sa]ni β
壺	Tu[bu α	笠・傘	ha[sa α (ともに)
鉢	# [ha]Cji β, [sui]ba[Cji α (播り鉢)	針	[ha]i β
瓶(かめ)	[ha]mi β	糸	'i[Cju]: β
水瓶	[midu]ha[mi, [midu]ga[mi α	煙管(きせる)	Cji[sji]ri β
桶	# [ji]: β, [ta]ru β	金(金属; お金)	ha[ni α, ha[ni, zji]N α
水桶	# [midu]ta[ru α	三味線	[sa]N[sji]N β
盥(たらい)	ta[re]: β (大), [biN]da[re]: β (小, 洗顔用)	船	[hu]ni β
ひしゃく	[ni]bu β	帆	hu[: α
柄(え)	ji[: α	櫂(かい)	jo[: α
釜	ha[ga]ma β	網	'a[mi α
しゃもじ	[misji]nge[: α Cf. mi[sji α (飯)	槍	ja[ri α (なし) Cf. tu[ja α (魚を獲るヤス)
急須・鉄瓶	su[Ka]: β	鍬(くわ)	[Ke]: β
箸	[ti]mu[Tu α	鋤(すき・牛馬用)	su[Cji α (牛馬ともに)
		脱穀用ゴザ	hu[mu α
		鎌	ha[ma α
		鋤(人が使う)	x
		鎧(へら)	hji[ra α

項目	中里方言	項目	中里方言
笊	so[:]hji β	目上(の男)	[mi]:[ji]: β ([mi]:[ji:nu [ji]N[nga], [sji]da β
箆	[ti]ru β (大), [ti]N[nga]: β (小)	目下(弟, 妹)	mis[sa α, 'ut[Tu α
篩(ふるい)	[ju]gu[Cji α	青年	nji[sje]: β
俵	[ta]wa[ra α か (米は作らない)	大工	[sje]:[Ku α
筵(むしろ)	mus[su α	友だち	du[sji α (sg.), [dusji]N[Cja]: β (pl.)
薪(たきぎ)	[taN]mu β	若い娘	[me]:[ra]bi β
人	[Cju α	私	[wa]N β
親	'u[ja α	私たち (inclusive; exclusive)	wa[:]Cja β; [wa]N[na]: β
子	[Ka α, wa[ra]bi β	あなた	[na]:[mi α
長男	[sji]da, sji[da]: β	あなたたち	na[:]Cja β
二男	以下, 区別なく 'ut[Tu α 分ければ[njiba]N[mi α	お前	[da α (OK)
三男	同じく [saNba]N[mi α	お前たち	[da]N[na]: β
四男	同じく [joNba]N[mi α	皆	[hji]N[nja β
長女	[sji]da, sji[da]: β	名(な)	na[: α
二女	以下, 区別なく 'ut[Tu α 男女の別なし	老人	jic[Cju α
末っ子	bas[sji]: β	お祝い	[ju]je[: α
親子	'u[jak]Ka β	結婚	[ju]je[: α, tu[zji]Tu β (夫婦)
孫	ma[go:], ma[gu]: β	結納	[saNgo]:[de]: β, [saNngo]:[de]: β (焼酎3合の意)
父, おとうさん	jak[Ki]: β, [Ki]: β, [jiNnga]'u[ja α	喧嘩	[sjic]Cji[: α
母, おかあさん	['a]N[ma]: β, ['unagu]'u[ja α	相互扶助(農作業 など)	[ju]i β (時に ju[i α にも揺れる)
兄, おにいさん	[Ki]N[Ka]: β	相撲	sji[ma α (「鳥」と同形)
姉, おねえさん	[ne]: βか	一つ	[Ti]Tu β
弟	'ut[Tu α	二つ	[Ta]:[Tu α
妹	'ut[Tu α (弟妹の別なし)	三つ	[mi]:[Tu α
兄弟(きょうだい, しまい)	[so]:[de]: β	四つ	[ju]:[Tu α
祖父	'a[zji]: β	五つ	['i]Tu[Tu α
祖母	'a[ni]: β	六つ	[mu]:[Tu α
夫	'u[Tu α	七つ	[na]na[Tu α
妻	tu[zji α	八つ	[ja]:[Tu α
夫婦	tu[zji]Tu β	九つ	[ku]:[nu]Tu β
叔父(おじ)	'u[zji α	十(とお)	tu[: α
叔母(おば)	'u[ba α	一人	[Cju]i β
甥(おい)	mi[:k]Ka β	二人	Ta[i α
姪(めい)	mi[:k]Ka β (甥姪の別なし)	三人	[mi]Cja[i α
従兄弟(いとこ)	['i]Tu[Ku α	四人	[ju]Ta[i α
婿	[muk]Ka β	五人	# [go]nji[N α ('iTuTai があるか不明)
家族	[ja]:[Ti]: β	六人	[ro]Ku[nji]N β (muTai があるか不明)
親戚	[haro]:[zji]: β		
男	[ji]N[nga α		
女	['u]na[gu α (OK)		

項目	中里方言	項目	中里方言
七人	[sji]Cji[nji]N β	言葉	[ju]mi[Ta α
八人	[ha]Cji[nji]N β	歌	'u[Ta α
九人	[kju]:[nji]N β	踊り	[u]du[i α
十人	[zju]:[nji]N β	鼓(つづみ)	[te]:[ko]: β
いくら	[saN]sa β (値段にも)	宝	[ta]Ka[ra α
いつ	'i[Tu α	型	ka[Ta α
だれ	ta[ru α	形	[ka]Ta[Cji α
どこ	[zja]: β, [zja:]zji β (どこで)	休息	?
どれ	[di]ru β	魂	?
なぜ	[nu]nga β	刺青(いれずみ)	x
なに	[nu]: β, [nuc]Cji β	真似	ma[ni α
いくつ	[saN]sa β	嘘	'u[su α
これ	'u[ri α	小さい	'i[na]sa β
それ	'u[ri α	大きい	'u[bi]sa β
あれ	'a[ri α	低い	[hji]Cja[sa α
ここ	[u]ma β	同じ	[TiTu]mu[N α
そこ	[u]ma β	短い	'ic[Cjasa]i γ
あそこ	[a]ma β	丸い	[ma]ru[sa α, [ma]ru[sa]i β
技・仕事	[sji]gu[Tu α	暖かい	# nu[Ku]sa β, nu[Kusa]i γ
鬼	'u[nji α	寒い	hji[:sa]i γ
心	Cji[mu α	冷たい	'uc[CjiTu]i γ
情け	?		

表3 文法

	共通語例文	中里方言
1	おれは 今日は 忙しい。	[wano: [su:ja [isu!!gasa/[i]su[ga]sa/[i]su[gasa]i.
2	おまえが 畑へ 行け。	[da!nga [ha!Te:gaCji/[ha!Te:nji [i!!Ki/[i!!KicCjina.
3	うん、畑へは おれが 行く。	[i]N, [ha!Te:gaCje:/[ha!Te:nji [wa!!nga [iCju!!i.
4	おれの 鎌は どこにある。	[waNnu [Ke:ja [zja:nji [asu!!jo/[ai!!jo/[a]i.
5	この 鎌は 太郎のか。	[uN [hama!: [ta!ro:nu [mu!!Nna.
6	どれが おまえの 笠だ。	[dirunga [da: [ha!!sajo.
7	その 笠が おれのだ。	[uN [hasa!nga [wa: [mu!!N [do]:.
8	この 風呂敷は おまえのか。	[uN [huru!sjiKe: [da: [mu!!Nna.
9	それは 弟の かもしれない。	[ure!: [utTu!nu [mu!NKamu [waKa!!ra:/[wa]Ka[ra]:.
10	沖縄には 船で 行くより 飛行機 で行った ほうが いい。	[oKi!na:gaCje: [hunizji [iCjukKa!mu [hjiKo!:Kizji [izja!N %ho:nga [ju!!Tasai/ju[Tasa]i.
11	飛行機は 一日に 一回しか ない。	[hjiKo!:Ke: [hjiCji!:nji [ik!KaisjiKa [ne]:.
12	空港なら こっちの 道を 行きなさい。	[hjiKo!:zjo:gaCje:/[Ku!:Ko:ja (新) [umanu [miCjijo!:ba [i!!Ki.
13	道の 真ん中を 歩いては いけな い。	[miCji!nu [maNna:(jo):!ba/[na:jo:ba [acCje: [iKa!!N[do]:/[iKa!:/[i]Ka!:.]
14	道が 広いなあ。	[miCji!nga [hji!!rusai [ja]/hji[rusa]i.

	共通語例文	中里方言
15	あ、雨が 降ってきた。	'ak[KE, ['ami!nga [hu]Tic[Cji]:. (※ 'akKE のEは母音が広い)
16	いとこの 布団が 屋根の 上に 干してある。	['iTuKu!nu [hu!TuNnga/['u!dunga (古) [jaNhi!ra:nu [ji:lnji [hu]Cji['a]i.
17	きのうは 今日より 風が 強かった。	[Cji!nju:ja [su:kKamu [hadi!nga [Cjusa]Ti.
18	真っ白な 鳥が 空を 飛んでいる。	[massjiru:tu!i:nga [tiNto:jo:ba [tu!!dui/tu[du]i.
19	あの 山には 猪が いるそうだ。	['aN [jamanjel: ['inusjisji!nga ['u!!NTinga.
20	あれは 学校だ。役場では ない。	['are!: [gak!!Ko: [do]:/[gak!Ko:zji, [ja!Kuba: ['a!raN [do]:/'a[ra]:.
21	あれが 役場だ。	['ari!nga [ja!!Kuba [do]:.
22	あの 目の 大きい、色の 白い 男は 誰だろう。	['aN [mi!:nu %'u!bisaN, ['iru!nu %sji!rusaN [jiNnga!:[ta!ru [Ka]i.
23	孫が 去年から 東京に いる。	[ma!go:nga [huduKa!ra [to:!!Kjo:nji ['u!!i/u]i.
24	孫は いつ 東京から 帰るか。	[ma!go:ja ['i!Tu [to:!!Kjo:Kara [mudu]juk[Ka/[mudu]ju[su]jo.
25	八月には 帰って くる ようだ。	[haCji!gaCunje: [mu!duTi [su!NTinga/['aNbe!:[zja.
26	かあさんは あした 東京へ 息子に 会いに 行く。	['ok!Kano: ['a!Cja [to:!!Kjo:gaCji/[to:!!Kjo:nji [jiNngaNKa!nji ['o:iN!nja ['iCju!!i/['i]Cju]i.
27	大阪から 東京までの 汽車賃は いくらだろうか。	['o:saKaKara [to:!!Kjo:madinu [Kisja!Cjino: [saNsa [Ka]i/jo.
28	四時まで 駅で 待っておれ。	[jozjimadi [jeKizji [macCju]ri.
29	五時までに 帰らなくては ならない。	[guzjimadinji [mudu!raNba [na!ra:/na[ra]:.
30	次郎、この 荷物を 家まで かついで 行ってくれ。	zji[ro:], ['uN [nji!muTujo:ba [ja:ma!di [haTa!miTi ['i!!zji ku[ri]:.
31	荷物が 重かったので、二人で 持った。	[nji!muTunga ['ubussa!Ti/['ubussa!nu [Tai!zji [muc]Cji.
32	この 上着は この前 沖縄で 二千円で 買った。	['uN ['ulwage: [njaN!ma ['oKi!na:zji [njiseN!eNzji [ho:!!Ti/[ho]:[Ti.
33	沖縄には 珍しい 菓子が ある。	['oKi!na:nje: [miN!dasaN [Kasjinga [a]i.
34	孫は お菓子が 好きだ。	[ma!go:ja [Kasjinga [su]Cju[i/su]Cji.
35	箱の 中に まんじゅうが いくつ あると 思うか。	[haKu!N/[haKu!nu %na:nji [maN!zju:nga [saNsa ['aNcji ['umu!jujio.
36	孫は まんじゅうを 皮だけ 食べる。	[ma!go:ja [maN!zju:jo:ba [kawada!Ki [ka!n!nui/ka[nju]i.
37	じいさんは 朝から 海へ 魚を とりに 行った。	['a!zji:ja [Kama!Kara ['umi(!)gaCji ['ijujo:ba [tu(i)N!nja ['i!!zji/'i]zji. (朝は [Kama ㇿえ, [Kama!Kara は例外。['umi!gaCji はその影響か?)
38	ここは 海に 近いので 魚が うまい。	['uma!ja ['uminji [Cji!KasaNKani ['iju!nga [masa]i.
39	魚より 肉の ほうが 高い。	['ijuk!Kamu [sjisji!nu/[njiKu!nu %ho:nga [ta]:[sa]i.
40	おれは 蛸の さしみが 食べたい。	[wano: [to:!!nu [sasjimi!nga [kaNbu!sai/[kaN]bu[saj]i.
41	おまえは この 魚の 名前を 知っているか。	[da!:'uN ['iju!nu [na:jo:ba [sjic!!CjuNnja]].
42	これは 鰹だろう。	['ure!:[kaCu!o %do:ga.
43	酒は どうやって つくるか おまえは 知っているだろう？	[se:ja!:[salsjissji [TuKu!jukKa [da!:[sjic!CjuN %do:ga.
44	酒は 米から つくる。	[se:ja!:[humiKa!ra [TuKu!jusu/[Tu]Ku[ju]i.
45	酒さえ あれば 何も いらぬ。	[se:sjel: ['a!riba: [nu!:mu ['i]ra[:.

	共通語例文	中里方言
46	うちのじいさんは酒もタバコも飲まない。	[ja:nu [ˈa:zji:ja [se:imu [ta!baKumu nu[ma]:.
47	その水は飲むな。飲むならこの水を飲め。	[uN [mido!: nu[mu]na. [nu!njusu [na!riba: [ˈuN [midujo!:ba [nu]mi.
48	なぜおまえは食べないのか。	[nunga [da!: [ka!maNsu]jo.
49	おれはさつま芋なんか食べないぞ。	[wano: [haN!suNCja: [ka!maN [do]:.
50	もう食べられるものは全部食べた。	[nja: [kama!ruN [muno!: [hjiNnja [ka]di.
51	食べて寝るだけなら犬や猫と同じだ。	[kadi [nitTu!NdaKi/[nitTu!sudaKi [na!riba: [ˈiN!nga:ja [gu!ru:Tu [ˈis!su %zja]ga.
52	砂糖は甘い。薬は甘くない。	[sa!Ta:ja [ˈama!!sa. [Ku!sujе: [ˈamasa!: ne[:.
53	去年いとこが中学の先生になった。	[hu!du [ˈiTuKu!nga [cju:gak!Ko:nu [sjiN!se:nji [na]Ti.
54	いとは英語の本が読める。	[ˈiTuKo!: [je!:gonu %hoNnga ju[njuNsu]i.
55	あのこそ本当の金持ちだ。	[ˈaN [CjuKusa [huN!To:nu [hanimu!Cji [do]:.
56	その話は妻にだけ聞かせた。	[uN [hanasje!: [tuzjinjida!Ki [CjiKa!!Cji/[Cji]Ka[Cji].
57	妻に夕飯を作らせる。	[tuzji!nji [ji:jo:ba/[go!haNjo:ba [TuKu]ra[su]i.
58	夫は竹でかごを作った。	[uTo!: [de!:zji [kagujо:ba [Tu!!KuTi/Tu[Ku]Ti.
59	次郎は弟の三郎とけんかした。	[zji!ro:ja [ˈutTu!nu [sabu!ro:Tu [sjie]Cji[Ti.
60	三郎は次郎に棒でなぐられた。	[sabu!ro:ja [zjiro!:nji [but!To:zji u[Tat]Ti.
61	次郎はじいさんに叱られた。	[zji!ro:ja [ˈa:zji:nji [bu]Ti[rat]Ti.
62	おれはきのうは新聞を読まなかった。	[wano: [Cji!nju:ja [sjiN!buNjo:ba ju[maN]Ti.
63	その新聞は今日のだ。きのうのはこれだ。	[uN [sjiN!buno: [su:nu [do]:. [Cji!nju:nu %muno!: [ˈu!!ri [do]:.
64	雨の降る日にはばあさんは家でテレビばかり見ている。	[ˈami!nu [hu!juN %hji:ja [ˈa!ni:ja [ja!:zji [te!rebi [bak!Kai mi[Cju]i.
65	お祝いのときにはばあさんまで踊った。	[juije!:nu %tuKe: [ˈa!ni:madi [ˈudu!!Ti/[ˈu]du[Ti.
66	花子はきのうから病気で寝ている。	[ha!naKo: [Cjinju:!!Kara [ja!maizji nit[Tu]i.
67	花子はかあさんに御飯を食べさせてもらった。	[ha!naKo: [ok!KaNnji/[ˈaN!ma:nji [go!haNjo:ba [ka!maCji mu[ra]Ti.
68	医者がくれた薬を飲めば治るだろう。	[ˈisja!nga %KutiTa!N [Ku!sujе: [nu!miba: [no!:juro:.
69	かあさんは市場へ買物に行った。	[ok!Kano: [ˈi!CjibagaCji [ho:imuN!nji [ˈi!!zji/i]zji.
70	道で学校の先生に会った。	[miCji!zji [gak!Ko:nu [sjiN!sje:nji [o!!Ti.
71	何を買おうか。	[nu:jo:ba [ho!:o:Ka.
72	和子と同じ下駄を花子にも買ってやろう。	[ka!zuKonu [muN!Tu [jiNsa: [ˈassajo:ba [ha!naKonjimu [ho!:Ti [Kuri!!ro:/[Ku]ri[ro]:.
73	和子と花子は友だちだ。	[ka!zuKoTu [ha!naKo: [dusjiN!Cja: [do]:/[dusji]N[Cja]:.
74	花子は顔がかあさんによく似ている。	[ha!naKo: [Tura!nga [ok!KaNnji [ju: [nji!!Cjui/nji[Cju]i.

表 4 連語

調査文	中里方言
1 α + α + α 水と鳥と鼻がある。 山と豆と花がある。 豆と麦と鳥が見える。	[midu!Tu [tui!Tu [hana!!nga %'a]i. [jama!Tu [mami!Tu [hana!!nga %'a]i. [mami!Tu [munji!Tu [tui!!nga %miNka:!!]jui.
2 β + β + β 海と鍋と船がある。 海と太陽と白がある。	[umiTu [nabiTu [huninga ['a]i. [umiTu [tidaTu ['usunga ['a]i.
3 α + α + β 水と山と海がある。 鳥と水と船が見える。 花と山と海がある。	[midu!Tu [jama!Tu ['uminga ['a]i. [tui!Tu [midu!Tu [huninga [miNka:!!]jui. [hana!Tu [jama!Tu ['uminga ['a]i.
4 α + β + α 水と海と山がある。 豆と鍋と水が見える。 山と海と花がある。	[midu!Tu ['umiTu [jama!!nga %'a]i. [mami!Tu [nabiTu [midu!!nga %miNka:!!]jui. [jama!Tu ['umiTu [hana!!nga %'a]i.
5 α + β + β 水と海と船がある。 水と鍋と白が見える。 山と海と船がある。	[midu!Tu ['umiTu [huninga ['a]i. [midu!Tu [nabiTu ['usunga [miNka:!!]jui. [jama!Tu ['umiTu [huninga ['a]i.
6 β + β + α 鍋と白と水がある。 海と船と山がある。 白と鍋と豆が見える。	[nabiTu ['usuTu [midu!!nga %'a]i. [umiTu [huniTu [jama!!nga %'a]i. ['usu!Tu [nabiTu [mami!!nga %miNka:!!]jui.
7 β + α + α 海と山と水がある。 白と豆と鳥が見える。 海と水と山がある。	[umiTu [jama!Tu [midu!!nga %'a]i. ['usuTu [mami!Tu [tui!!nga %miNka:!!]jui. [umiTu [midu!Tu [jama!!nga %'a]i.
8 β + α + β 海と水と船がある。 鍋と鳥と白がある。	[umiTu [midu!Tu [huninga ['a]i. [nabiTu [tui!Tu ['usunga ['a]i.
1 α + α + β 煙と鋏と刀がある。 鋏と煙と刀がある。 鏡と踊りと畑が見える。	[hibusji!Tu [hasami!Tu [ha!!Tananga %'a]i. [hasami!Tu [hibusji!Tu [ha!!Tananga %'a]i. [kagami!Tu ['udui!Tu [ha!!Te:nga %miNka:!!]jui.
2 α + β + α 踊りと刀と鋏がある。 鋏と畑と形がある。 暦と刀と煙が見える。	['udui!Tu [ha!TanaTu [hasami!!nga %'a]i. [hasami!Tu [ha!Te:Tu [kaTaCji!!nga %'a]i. [kujumi!Tu [ha!TanaTu [hibusji!!nga %miNka:!!]jui.
3 β + α + α 刀と形と暦がある。 刀と暦と踊りがある。	[ha!TanaTu [kaTaCji!Tu [kujumi!!nga %'a]i. [ha!TanaTu [kujumi!Tu ['udui!!nga %'a]i.

調査文	中里方言
畑と鏡と煙が見える。	[ha!Te:Tu [kagami!Tu [hibusji!!nga %miNKa:!!]ju.
1 α + α + α	
畑と踊りと形。	[hibusji!Tu [ˈudui!Tu [ka]Ta[C]ji.
鋏と鏡と暦。	[hasami!Tu [kagami!Tu [ku]ju[mi.
2 β + β + β	
刀と畑と腰。	[ha!TanaTu [ha!Te:Tu ga[ma]Ku.
3 α + β + α	
踊りと畑と煙。	[ˈudui!Tu [ha!Te:Tu [hi]bu[s]ji.
鏡と刀と鋏。	[kagami!Tu [ha!TanaTu [ha]sa[mi.
4 β + α + β	
畑と煙と刀。	[ha!Te:Tu [hibusji!Tu ha[Ta]na.
刀と鋏と畑。	[ha!TanaTu [hasami!Tu ha[Te]:.
5 α + α + β	
畑と鋏と刀。	[h]jibushi!Tu [hasami!Tu ha[Ta]na.
6 α + β + β	
鋏と刀と畑。	[hasami!Tu [ha!TanaTu ha[Te]:.
7 β + β + α	
刀と畑と鋏。	[ha!TanaTu [ha!Te:Tu [ha]sa[mi.
8 β + α + α	
刀と鋏と暦。	[ha!TanaTu [hasami!Tu [ku]ju[mi.